

出会いのワゴン (後期)

今月の後期生の出会いのワゴンのテーマは、「春」です。

『やぐらがさいた!』

木暮正夫



バスの車掌さんをしながら、道沿いに桜の苗木を植えていた佐藤良二さん。彼が植えたつづけた桜の苗木は二千本にも上っている。良二さんはそここのような願いを込めていたのでしょうか。

『桜の木の下には』

梶井基次郎

「桜の木の下には屍体が埋まっている……」という衝撃的な分から始まる短編小説。作者特有のグロテスクな表現や独特の感性には麻薬的な魅力があります。作者の他の短編に有名な「檸檬」がある。

『秒速5センチメートル』

新海 誠

小学校の卒業と同時に離ればなれになった遠野貴樹と篠原明里。そのとき、ふたりのあいだには二人だけの特別な思いがあった。しかし、無情にも時間だけが過ぎていく…。次の学年を迎えるにあたって、フレッシュなラブストーリーは、いかがでしょうか。

『桜ほつたら』

宮部みゆき



桜がご縁でめぐり逢った人々。次々に起こるミステリアスな事件。主人公笙之介の経験や成長を通して、人生の切なさ、ほろ苦さ、人々の温かさがこころに沁みる物語。

(四年)

倒錯の時代

チャップリンの映画『独裁者』のなかで、興味深い一齣がある。シユルツという負傷した士官が砲兵のチャップリンに助けられて飛行機で脱出するという場面で、シユルツがチャップリンに「what time is it?」とたずねる。この時飛行機は逆さに飛んでいるのだが、二人とも雲海の中にいてそのことが分からない。チャップリンが懐中から時計を出すとたちまち時計は鎖から二ヨッキリと眼の前にそびえ立って彼をおどろかす。丸山眞男はこの場面を例にとり、倒錯が社会関係の中に構造化されている時代について論じている。つまり、ここでの重要な暗示は「逆さの世界」の住人にとっては、逆さの世界が逆さとして意識されないという点であると主張しているのだ。

もう一つ、同映画の中から例を出そう。ある床屋が、意識を喪失している間に世界は一変し、ゲッター(ユダヤ人街に迷い込む。彼は何事も知らないから、きわめて普通の常識に従って普通に行動する。ユダヤ人の店先のガラスに勝手に「ユダヤ人」とペンキでぬりたくるのは非礼であるから平然と突撃隊員(ヒトラー)のナチス党を補助した準軍事組織の目の前でそれを消す。何の罪もないユダヤ人が暴力を振るわれているのを見て、突撃隊員に乱暴者をとりしめてくれと訴える。彼の判断や行動はどれもきわめて自然なのだが、それが一つ一つの世界では不自然なことなのだ。このチグハグが私達の滑稽をきそつ。この滑稽感私たちがわれ聞せず焉の見物人として、「純粋理知」をまつて対しているかひたぬ。

ところが、現代において私たちは見物人として存在し得ない。私達は一体どちらの日常性の側からどちらの倒錯を笑っているのか。

畢竟するに、「what time is it?」という問いは、現在時刻ではなく、「現代とはいかなる時代か」を問っていたのである。参考:『現代における人間と政治』丸山眞男(五年)

新刊紹介(新書)

- 『国語をめぐる冒険』 渡部 泰明他
- 『食へものから学ぶ世界史』 平賀 緑
- 『マンガ 一晚でわかる中学数学』 端野 洋子
- 『図解・天気予報入門』 古川 武彦
- 『数学とはどんな学問か?』 津田 一郎
- 『インド洋 日本の気候を支配する謎の大海』
- 『食べる時間でこんなに変わる 時間栄養学入門』
- 『はじめての機械学習』 田口 善弘
- 『宇宙人と出会う前に読む本』 高水 裕一
- 『多様性とは何か』 小笠 英志
- 『田周率の世界』 柳谷 晃
- 『爆発する宇宙』 戸谷 友則
- 『論理パズル』 小野田博一
- なるにはBOOKS
- 『弁護士になるには』
- 『アプリケーションエンジニアになるには』
- 『社会福祉士・精神保健福祉士になるには』
- 『環境専門家になるには』
- 『弁理士になるには』 改訂版
- 『小学校教諭になるには』
- 『なるにはBOOKS 大学学部調べ 農学部』
- 『なるにはBOOKS 大学学部調べ 経済学部』
- 『なるにはBOOKS 大学学部調べ 国際学部』
- 『なるにはBOOKS 別巻 会社で働く』

諸般の事情により、1月開催予定の読書会を延期します。

詳細が決まり次第、紙面で連絡しますので楽しみにお待ちください。

(五年)



BOOKS OF THE MONTH (前期)

今月の出会いのBOOKSは、「名言集」の本を紹介します！

『101人が選ぶ「とっておきの言葉」』

河出書房新社

様々な分野で活躍している101人の人達の「とっておきの言葉」をまとめた本です。心に秘めた言葉であったり、ふと思いつく言葉だったり、いろいろな言葉を知れるので「ああ。確かに」と、よく感心させられます！ちなみに、あなたの「とっておきの言葉」は何ですか？

『超訳じつもん「ニーチェの言葉」』

齋藤 孝

絶対に負けない強い心を手に入れる！という文句の通り、自分を支えてくれる言葉がたくさん入っています。ニーチェの価値観に、自分の中に力が湧いてきます！昔の人の言葉にハッとさせられることもあるのです。

『老子の言葉』

楠山 春樹

古代中国の老師の理知的で冷静な視点から語られた様々な言葉が収録されています！日常生活でもふとしたところで役立つようなしみる言葉が詰まっています。このMY古典シリーズはほかにも孟子や論語など様々な偉人の言葉をわかりやすくまとめてくれています。ぜひ手に取ってみてください！

(二年)



本を読むのが苦手な人におすすめの本

新しい年に、新しいことに挑戦するという人も多いのではないのでしょうか。そこで、図書委員から本を読むのが苦手だという人におすすめの本を紹介します！

『ざんねないきもの辞典』 今泉忠明

大きな文字とイラストで、本を読むのが苦手な人でも、すらすら読める一冊です。イラストの下には細かい解説もあるので、動物が好きな人にもおすすめです！

『家族コンプレックス』 長江優子

この一冊で三つの物語を楽しむことができます。少し短めだけれど面白いので、読書が苦手でもあっとい間に読めます。また、オトナヘノベルには他にも種類があるのでぜひ読んでみてください！

『未来のミソ』 細田 守

映画で見たことがある人にもおすすめです。文章とアニメを見比べてみても楽しいですよ!! 勿論、映画を観ていない人にもおすすめです！わかりやすく、気軽に読めます!!

『桜ノ園』 halosy 原作原案

この本は音浜高校という高校の合唱部が舞台の恋愛小説です。このお話の登場人物は、あの有名な初音ミクを始め、様々なボーカロイドがモデルになっています。ボーカロイドに興味のある方はぜひ、読んでみてください。どうですか？新年を期に、ぜひ、読書好きになってみてください！

(一年)

新刊紹介

新・動物記シリーズ

『キリンの保育園』

『武器を持たない蝶の戦い方』

『隣のポノボ』

『夜のイチジクの木の上で』

『教養としてのギリシャ・ローマ』

名門「ロンビア大学で学んだリベラルアーツの真髄』

『福島原発事故とこころの健康』 岩崎 敬子

『木』からたどる人類史』 ローランドエノス

『ポジティブ言葉選び辞典』

『数学オリンピック 2017〜2021』

『生き物が大人になるまで』 稲垣 栄洋

『アーサー王の世界(1)〜(5)』 斎藤 洋

『地政学でわかる私たちの世界』マーシャルティム

『世界史は化学でできている』 佐巻 健男

『超加速経済アフリカ』

LEAPFROGで変わる未来のビジネス地図』

『似ている英語』 おかべひろし

『世界の半分、女子アクティビストになる』

『学校では教えてくれない自分を休ませる方法』

中学生までに読んでおきたい「哲学」全8巻

『愛のつらおもて』

『悪のしくみ』

『うその楽しみ』

『おろか者たち』

『自然のちから』

『死をみつめて』

『人間をみがく』

『はじける知恵』



編集後記

現在、本校図書館としては、来館の呼び掛けをしにくい状態にある。その理由は、新型「コロナウイルス」の感染拡大であり、それを理由に図書館の利用を敬遠している人もいるだろう。

しかし本校図書館では、公共図書館等の感染症対策を参考に、換気や、入口付近への手指消毒用アルコールを設置している。このほかにも以下の二つのことを継続して行っている。

まず一つ目は、返却本の消毒である。ウイルスは物にも付着し、その大半は三日間の放置又はアルコール消毒によって消滅するといわれている。そのため、返却本の表裏表紙をアルコールティッシュで清拭し、最小限に減らしている。

二つ目は混雑時の返却箱の設置である。カウンター前で密を避けるために、返却本を一旦別の場所で受け取るというものである。その上で、貸出の際にはカウンター前で利用者に距離をとって列に並んでもらっている。

全国的に若者の感染者が増加しているようだが、今後も皆さんのご協力の上、開館を継続していきたい。

(委員長)

(三年)



